

2016年3月期
決算説明会



物流から価値を。

三井倉庫グループ

2016年5月18日



2016年3月期 決算説明会目次

- 説明資料内容
 - 2016年3月期 決算内容
 - 2017年3月期 決算見通し
 - 補足資料（別冊）



2016.3期決算内容 (1) 決算概要

単位：百万円

連結合計	2015.3期	2016.3期	増減額	増減率
売上高	170,486	212,971	+42,485	+24.9%
営業利益	6,112	3,287	△2,824	△46.2%
経常利益	4,308	912	△3,395	△78.8%
当期利益	1,212	211	△1,000	△82.5%
営業CF	8,047	11,101	+3,054	+38.0%
投資CF	△14,809	△36,019	△21,210	—
財務CF	12,835	28,826	+15,990	+124.6%
自己資本	68,245	61,675	△6,569	△9.6%
総資産	245,213	285,939	+40,725	+16.6%
自己資本比率	27.8%	21.6%	△6.2%	—



2016.3期決算内容 (2) 売上高 (前期比)

単位：百万円

連結合計	2015.3期	2016.3期	増減額	増減率	主な要因
倉庫	47,740	50,204	+2,463	+5.2%	
港湾運送	14,815	14,408	△406	△2.7%	日中航路取扱減
グローバルロー	32,591	50,083	+17,492	+53.7%	新規連結子会社増
グローバルエキスプレス	29,430	23,125	△6,304	△21.4%	北米スローワーク特需の収束
ロジスティクスシステム	33,610	34,298	+688	+2.0%	
BPO	6,879	7,804	+924	+13.4%	新規顧客取扱増
SCS	—	24,399	+24,399	—	新規連結
トランスポートネットワーク	—	6,570	+6,570	—	新規連結
消去等	△4,502	△7,022	△2,520	—	
物流事業 計	160,564	203,872	+43,307	+27.0%	
不動産	10,477	9,614	△863	△8.2%	大規模修繕による賃料収入減少
全社・消去	△556	△515	+41	—	
売上高合計	170,486	212,971	+42,485	+24.9%	



2016.3期決算内容 (3) 営業利益 (前期比)

単位：百万円

連結合計	2015.3期	2016.3期	増減額	増減率	主な要因
倉庫	1,017	955	△62	△6.1%	新規施設の費用先行
港湾運送	457	241	△216	△47.2%	日中航路取扱減
グローバルロー	657	436	△221	△33.7%	中国・新興国景気低迷、 海外倉庫立ち上げ費用の発生
グローバルエキスプレス	3,339	1,932	△1,406	△42.1%	北米スローワーク特需の収束
ロジスティクスシステム	364	1,389	+1,024	+280.9%	コスト構造改革の進展
BPO	△425	△307	+117	—	新規顧客取扱増
SCS	—	213	+213	—	新規連結
トランスポートネットワーク	—	227	+227	—	新規連結
消去等	△1,821	△2,957	△1,135	—	のれん償却増
物流事業 計	3,589	2,130	△1,458	△40.6%	
不動産	5,872	4,916	△955	△16.3%	大規模修繕による賃料収入減少
全社・消去	△3,349	△3,759	△410	—	
営業利益合計	6,112	3,287	△2,824	△46.2%	



2016.3期決算内容

(4) 営業外損益・特別損益

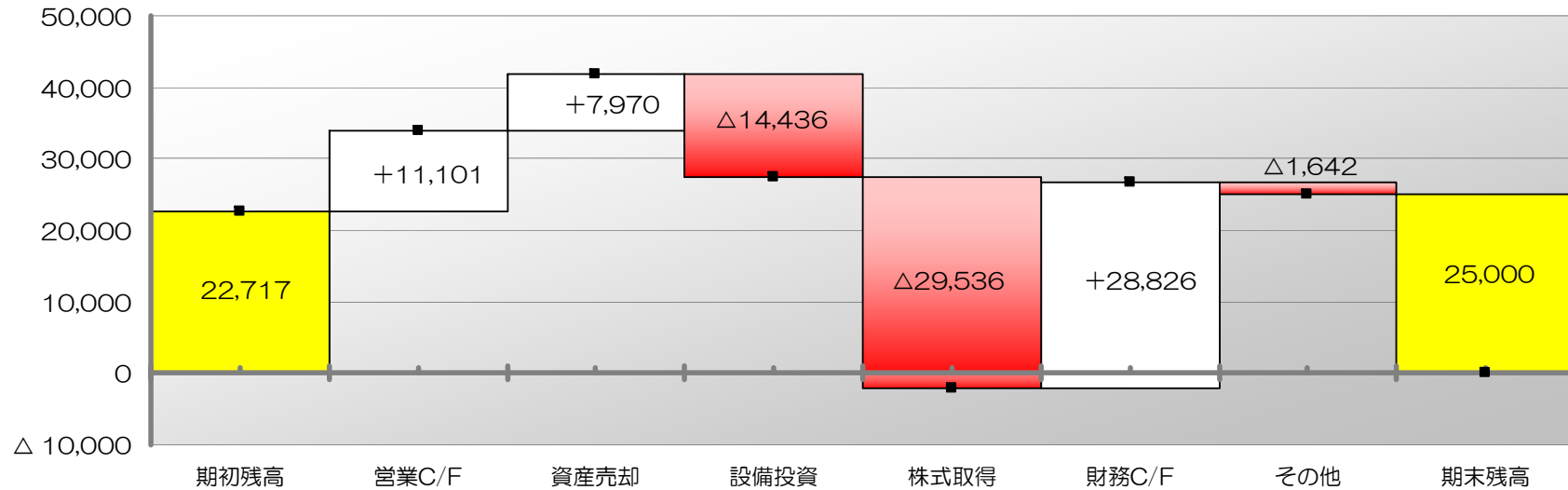
単位：百万円

連結合計	2015.3期	2016.3期	増減額
営業利益	6,112	3,287	△2,824
営業外損益	△1,804	△2,375	△570
内 金融収支	△712	△599	+112
経常利益	4,308	912	△3,395
特別利益	239	3,832	+3,592
内 固定資産売却益	—	1,177	+1,177
特別損失	172	1,930	+1,758
当期損益	1,212	211	△1,000



2016.3期決算内容 (5) キャッシュフローの状況

(百万円)



単位：百万円

連結合計	2015.3期	2016.3期	増減額	増減率
営業キャッシュフロー	8,047	11,101	+3,054	+38.0%
内 減価償却費	7,074	8,246	+1,171	+16.6%
内 のれん償却費	1,813	2,969	+1,155	+63.7%
投資キャッシュフロー	△14,809	△36,019	△21,210	—
内 設備投資額	△14,502	△14,436	+66	—
内 株式取得額	△1,073	△29,536	△28,463	—
内 資産売却額	384	7,970	+7,586	—
財務キャッシュフロー	12,835	28,826	+15,990	+124.6%
有利子負債残高	125,081	160,781	+35,700	+28.5%
期末キャッシュ残高	22,717	25,000	+2,283	+10.1%
期末ネットデット	101,284	134,379	+33,094	+32.7%

※ネットデット＝有利子負債－（現預金＋3ヶ月超定期預金）



2016.3期決算内容

(6) 財政状態

単位：百万円

連結合計	2015.3期	2016.3期	増減額
総資産	245,213	285,939	+40,725
流動資産	58,146	69,946	+11,800
内 現金及び預金	23,796	26,402	+2,605
内 受取手形及び営業未収金	25,282	32,324	+7,042
固定資産	187,067	215,992	+28,925
内 有形固定資産	127,973	144,393	+16,420
内 のれん	21,100	34,965	+13,864
負債	172,232	219,257	+47,025
有利子負債	125,081	160,781	+35,700
内 社債	64,000	57,000	△7,000
純資産	72,980	66,681	△6,299
自己資本比率	27.8%	21.6%	△ 6.2%



2016.3期決算を踏まえた今後の取り組みについて

① 投資案件の凍結

- ▶ 現時点で顧客が確定していない新規投資案件については凍結

② 競争力強化プロジェクトの検討/実行

- ▶ ベース業務の利益構造の見直しと事業売却を含む事業ポートフォリオの見直し

③ 追加財務施策の検討/実行

- ▶ 債権流動化の拡大等による有利子負債削減



2017.3期決算見通し (1) 決算見通し概要

単位：百万円

連結合計	2016.3期	2017.3期	増減額	増減率
売上高	212,971	240,000	+27,028	+12.7%
営業利益	3,287	6,000	+2,712	+82.5%
経常利益	912	4,500	+3,587	+392.9%
当期利益	211	1,100	+888	+419.2%
営業CF	11,101	12,000	+899	+8.1%
投資CF	△36,019	△17,000	+19,019	—
財務CF	28,826	4,000	△24,826	△86.1%
自己資本	61,675	61,500	△175	△0.3%
総資産	285,939	285,000	△939	△0.3%
自己資本比率	21.6%	21.6%	+ 0.0%	—



2017.3期決算見通し (2) 売上高見通し

単位：百万円

連結合計	2016.3期	2017.3期	増減額	増減率
物流	203,872	231,000	+27,127	+13.3%
不動産	9,614	9,500	△114	△1.2%
全社	△515	△500	+15	—
売上高合計	212,971	240,000	+27,029	+12.7%

【物流事業増減要因】 主として国内での増加

国内	<ul style="list-style-type: none">○前期中にグループ入りした丸協グループの通期寄与○サプライチェーンマネジメント業務の拡大 (例：日本トイザラスとのLLP契約を2月に締結)○前期竣工施設を活用したヘルスケア業務拡大による保管関連収入増○那覇国際コンテナターミナル運営参画の通期寄与×自動車関連PJ輸送の案件減に伴う航空貨物取扱減
海外	<ul style="list-style-type: none">○前期中グループ入りしたPrimeCargoグループの通期寄与 (欧州/アジア)○前期竣工したインドネシア新倉庫の通期寄与 (アジア)×前期が15ヶ月決算であったことの影響 (旧グローバル事業子会社)×自動車関連PJ輸送の案件減に伴う航空貨物取扱減 (米州/欧州/アジア)



2017.3期決算見通し (3) 営業利益見通し

単位：百万円

連結合計	2016.3期	2017.3期	増減額	増減率
物流	2,130	5,000	+2,869	+134.7%
不動産	4,916	4,700	△216	△4.4%
全社	△3,759	△3,700	+59	—
営業利益合計	3,287	6,000	+2,713	+82.5%

【物流事業増減要因】 売上拡大に加え、業務体制見直しを含めたコスト削減による収益改善

国内	<ul style="list-style-type: none">○前期中にグループ入りした丸協グループの通期寄与○サプライチェーンマネジメント業務の拡大 (例：日本トイザラスとのLLP契約を2月に締結)○ヘルスケア業務拡大による増収及び前期竣工施設の稼働率改善効果○那覇国際コンテナターミナル運営参画の通期寄与○業務・人員配置見直しを含むコスト削減の実施×自動車関連PJ輸送の案件減に伴う航空貨物取扱減
海外	<ul style="list-style-type: none">○前期中グループ入りしたPrimeCargoグループの通期寄与 (欧州/アジア)○前期竣工したインドネシア新倉庫の通期寄与及び稼働率改善 (アジア)○業務・人員配置見直しを含むコスト削減の実施 (海外全般)×自動車関連PJ輸送の案件減に伴う航空貨物取扱減 (米州/欧州/アジア)



2017.3期決算見通し (4) 営業外・特別損益

単位：百万円

連結合計	2016.3期	2017.3期	増減額
営業利益	3,287	6,000	+2,713
営業外損益	△2,375	△1,500	+875
内 金融収支	△599	△1,000	△401
経常利益	912	4,500	+3,588
特別利益	3,832	300	△3,532
特別損失	1,930	300	△1,630
当期損益	211	1,100	+889



2017.3期決算見通し (5) 財務見通し

単位：百万円

連結合計	2016.3期	2017.3期	増減額	増減率
営業キャッシュフロー	11,101	12,000	+899	+ 8.1%
内 減価償却・のれん償却費	11,216	12,000	+784	+ 7.0%
投資キャッシュフロー	△ 36,019	△17,000	+19,019	—
財務キャッシュフロー	28,826	4,000	△24,826	△ 86.1%
有利子負債残高	160,781	165,000	+4,219	+ 2.6%
期末キャッシュ残高	25,000	24,000	△1,000	△ 4.0%